

## NO7

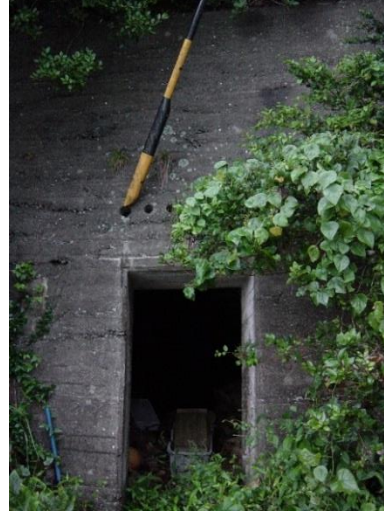
### トーチカ・地下壕

所在地は志摩市大王町（トーチカは三交バス「畔名口」下車すぐ、地下壕は三交バス「大王崎灯台」下車すぐ）

※現在、トーチカは草が生い茂り近づけない状況です。



↑ トーチカ



← 地下壕

B29の空路となっていた志摩半島。海軍の突撃隊や特攻隊の基地が多く作られ、特攻艇などで敵に体当たりする訓練がされていた。

また本土決戦に備えて、終戦前年から陸・海軍によって作られたトーチカや地下壕が数多くある。

大王町畔名<sup>あぜな</sup>のトーチカは森の端にあり、人が隠れ入って銃で攻撃できるスペースがある。おもに空がひろく見渡せるように作られているようにみえる。

同じ町の波切にある地下壕は、海軍が電信施設に使用する予定で作ったといわれる。

小さな湾に隠れるように作られていて、対岸からはその存在が確認しづらいが、壕からは海と空がよく見渡せる。

結局、トーチカや地下壕が使用される前に終戦となった。それらが誰一人として犠牲者を出さなかったため、当時の姿をとどめることができているといえる。